



令和 6(2024)年5月号

栃木県立盲学校 校長 野原 辰男



皆様こんにちは。「とちもう eye サポートセンターだより」を手にとってくださり、ありがとうございます。当センターの名称を掲げた初めての「だより」になります。今後ともよろしくお願いいたします。

さて、本校は、栃木県における視覚障害教育に関するセンター的機能を発揮しようと、支援部を中心に学校支援や教育相談等を展開してまいりました。しかし、インクルーシブ教育システムが徐々に浸透し、乳幼児から大人までの視覚障害のある方が教育機関や社会において、視覚障害のない方と共生しているケースが増えてきています。このような社会の変化に伴い、視覚障害のある方の困り感や支援に対するニーズも多様化しているのではないかと考えています。

私は、本校のセンター的機能が視覚障害のある方がおかれている多様化した状況に十分に応えられているのか危惧するとともに、見直す必要性も感じていました。そこで、センター的機能の改善と拡大を図るべく、相談事業を見直し、乳幼児教育相談、児童生徒教育相談、成人者相談の3本に整理して全世代からのご相談に対応できる体制づくりを行いました。特に、地域校に在籍する児童生徒からの教育相談に対応できておりませんでしたので、この点で改善を図りました。

また、地域校が展開するインクルーシブ教育を、これまで以上に支援できるよう、「通級による指導」を開始することにしました。地域校の通常の学級で学ぶ、見えにくさのある児童生徒に対して、学習や生活上の困難さを改善・克服することをねらい、盲学校教員による直接の指導が実施できるようになります。なお、地域校で頑張る先生方や学校を支援する「学校支援」も従来どおり行ってまいります。

センター的機能のバージョンアップとも言える変化を、県内に分かりやすくお知らせし、ご理解いただきたいと考え、令和6年4月より「とちもう eye サポートセンター」という名称を掲げました。盲学校のセンター的機能は当センターで担っていきますので、よろしくお願いいたします。見えない・見えにくいことでお困りのことがございましたら、ぜひ「とちもう eye サポートセンター」までご相談ください。

結びに、当センターの立ち上げにあたっては、栃木県教育委員会から多大なるご理解とご支援を賜りました。心から感謝申し上げます。

～2023 年度(昨年度)の支援について～

乳幼児教育相談利用幼児:9 名

幼稚園、保育園、療育施設(7園):9回

小学校(11校):25回

中学校(2校):3回

高等学校(1校):1回

特別支援学校(1校):2回



～新リーフレット～

新たに「とちもう eye サポートセンター」という名称を掲げるにあたり、リーフレットを作成しました。また、これまでの「早期教育相談」は「乳幼児教育相談」と名称を改め、愛称を「ぱんだ教室」とします。よろしくお願ひします♪



弱視特別支援学級等担当者研修会

4月25日(木)に地域の学校で弱視児童生徒を担当する先生方を対象に「弱視特別支援学級等担当者研修会」を行いました。昨年度に引き続き2回目の開催です。今回は9名の先生方が参加してくださいました。

午前中は「視覚に障害を有する児童生徒への学習指導について」、本校職員による講話及び情報交換会、学校見学、盲学校の教材紹介を行いました。給食は、アイマスクや弱視シミュレーションレンズを着用しながら食べる体験を行い、午後は、授業参観、そして、とちもう eye サポートセンターで行っている支援等について説明させていただきました。

参加された先生方からは「視覚的だけでなく、触るや聞く等も使って、理解できる支援の工夫が必要だと分かった。また ICT も活用できることを知った。」「(給食について)自分で体験することができ、とても良い経験になった。いつも弱視の生徒たちがどう見ているのか、分かるきっかけとなった。」「色々悩んでいるのは自分だけでないことを知って安心した。分からないことだらけなので、色々学んでいければと思った。」等の感想がありました。



～今後の予定～

●ぱんだサークル(育児学級):8月23日(金)、12月26日(木)

●サタデースクール(地域の小中学生対象):8月24日(土)、12月14日(土)

●弱視特別支援学級等オンライン交流会:7月、11月、1月

●弱視特別支援学級等担当者オンライン情報交換会:10月

